

研究課題 学校関係者評価委員が評価活動に参画する手だてを試行し、その評価結果を学校改善へ生かす取組に係る実践研究

子どもにも、教職員にも、保護者にも、学校関係者評価委員にも、わかりやすい学校評価

札幌市立白楊小学校

I はじめに

学校改善に資する学校評価の取組



1 本校における学校評価のねらい

本校では、昨年度までの学校評価の課題として、次の3点を考えた。そこで、この3点の改善を図るべく手立てを考え、大きく2つの取組を具現化することにした。

〈学校評価の課題〉

1. 評価項目が抽象的である。
2. 何をいつまで行うかが曖昧である。
3. 目標と日々の教育活動との関連が弱い。

〈改善の手立て〉

1. 評価項目を具体的に、かつわかりやすくする。
2. 前期・後期の二期性を有効に生かす。
3. 評価項目の重点化を図り日々の教育活動に具体的に取り込んでいく。

〈わかりやすい学校評価〉にするために

1. 通知表の項目と学校評価をリンクさせる取組
2. 学校関係者評価委員への積極的な働きかけ

2 昨年度の学校評価の結果をもとにした改善点

本校の昨年度の自己評価の結果から、達成状況が「B」と評価された項目は、以下の3項目であった。

- 〈教育方針〉 ②教育活動のねらいや内容、子どもの様子が保護者によく理解されている。
- 〈子どもの育ち〉 ①子どもには、挨拶や学習準備など、基本的な生活習慣が身に付いている。
- ③子どもには、めあてをもち、進んで行動する力が育っている。

さらに、学校関係者評価として、改善策の適切さが「B」と評価された項目は、〈子どもの育ち〉③子どもには、めあてをもち、進んで行動する力が育っている。という項目であった。

そこで、今年度は、どんな子どもの姿を目指して教育活動を取り組んでいるかをさらに一層明確にする努力をした。そのための改善点として

〈改善点1〉 保護者の評価 [アンケート1回から2回の実施へ]

〈改善点2〉 子どもの〈自己評価〉を生かす

[通知表の行動目標と一致させ前期・後期の2回の実施へ]

〈改善点3〉 学校評価関係者委員会 [1回から3回の実施へ] とした。



| | 学校評価関係者委員会 | 通知表 |
|---|--|-----|
| 1 | 保護者の評価 [アンケート1回から2回の実施へ] | |
| 2 | 子どもの自己評価を生かす [通知表の行動目標と一致させ前期・後期の2回の実施へ] | |
| 3 | 学校評価関係者委員会 [1回から3回の実施へ] | |

II 本校の学校関係者評価

学校関係者評価のシステムをつくる

1 これまでの取組の問題点

昨年度までの学校関係者評価は、学校評議員4人と学校職員で構成し、年度末に1回の会議をして、自己評価を評価していただいた。学校評議員のメンバーは、元PTA会長や町内会関係の方たちで、学校のことをよく理解してくださっている方である。今年度さらに様々な角度から学校を評価していただくメンバー（幼稚園の園長・中学校校長・現PTA会長）を加えたことや、もっと学校に足を運んでくださり評価しやすくしていくシステムをつくった。



2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

今年度は、昨年度まで、年度末1回だったものを、各学期に1回ずつ合計3回実施し、教育方針や子どもの育ちについてよく理解していただくようにした。また、学校行事はもちろん、参観日やPTA活動、子どもの集会などにもご案内することで頻りに学校に足を運んでいただくようにした。

III 学校評価の一年間の流れ

| | 自己評価 | | | 学校関係者評価 |
|----|---|------------------------------|--------------------------------------|---|
| | 学校（教職員） | 児童 | 保護者 | |
| 4 | | | | 学校関係者評価委員へ委任状 |
| 5 | | | | スクールゾーン実行委員会 運動会 |
| 6 | | | | 参観日 |
| 7 | | | | 日曜参観日 |
| 8 | 中間評価 校務分掌各部で評価項目・ 設問作成～全職員による回答 ～校務分掌各部で結果分析、 改善案を作成～中間反省全体 会で改善案検討 | | | 第1回学校関係者評価会議 ・顔合わせ ・学校関係者評価委についての説明 |
| 9 | | 前期 自己評価 [通知表の 行動目標] | 前期 アンケート [学校の教 育・子ども の姿] | 参観日 |
| 10 | | | | 第2回学校関係者評価会議 子どもの自己評価、保護者アンケートの結果、 学校職員中間評価の結果と改善案の説明 参観日 PTA行事～「白楊のつどい」 |
| 11 | | | | 学芸会（若草保育園・白楊幼稚園招待） |
| 12 | | | | 児童集会（毎年 白楊幼稚園も参加） |
| 1 | 年度末評価 校務分掌各部で評価項目・ 設問作成～全職員による回答 ～校務分掌各部で結果分析、 改善案を作成～中間反省全体 会で改善案検討 | | | 「平成23年度学校運営評議会委員・学校関係者 商会員研究協議会」への参加（東京） 平成23年度 札幌市学校評価フォーラム研究発表 |
| 2 | | 後期 自己評価 [通知表の 行動目標] | 後期 アンケート [学校の教 育・子ども の姿] | 参観日 |
| 3 | 新年度計画 | | | 第3回学校関係者評価会議 自己評価の評価～学校関係者評価書作成～ 評価書を教育委員会へ提出 |

IV 学校関係者評価の具体

1 学校関係者評価を機能させる手だて

評価項目の設定と教職員の共通理解



(1) 組織体制の工夫

本校では、今年度から学校評議員4人に加えて、幼稚園の園長先生・中学校の校長先生、さらに現PTA会長を加えた。幼少連携・小中連携を図るとともに、保護者の角度からも現PTA会長に学校についていろいろな意見ををいただくことができるように組織した。

(2) 委員選考に当たって留意点

委員選考に当たっては、今後は学校の応援者でもあり、広く、様々な角度から意見を言ってもらい委員の選考も必要となる。白楊小学校の場合は、商店街が地域にあり、生活や総合の学習でも大変お世話になっている。商店街の方々や民生委員の方々などの選考も今後の方向としては考えていきたい。

(3) 学校関係者評価への働きかけの具体

① 積極的に評価活動へ参画できるための工夫

参観日のご案内は特に詳しく授業内容もご案内の中に入れて、どの授業を見るかを選択できるように案内をしてきた。

② 来校機会・情報提供の回数

運動会・学芸会・卒業式はもちろん、今年度は参観日に頻繁に足を運んでいただいた。また、関係者評価委員会会議を3回計画し、10月の会議では、中間評価の情報を提供している。



コミュニケーションツールとしての学校関係者評価を生かす

(4) 学校関係者評価の実際

① 評価方法等の説明

白楊小学校では、目指す子どもの姿を明確にし、教職員が共通理解の基で、子どもの指導にあたっている。学校関係者にもその具体的な姿を伝えて評価していただくように伝えている。

〈白楊小学校の目指す子どもの姿〉

行動のめあて は・く・よ・う

は ~ はっきりあいさつ心から

く ~ ぐらすのみんなと協力だ

よ ~ よく考えて挑戦し

う ~ うごこう進んで自分から

この行動のめあては、通知表とリンクしていることで、子どもも「どんな自分を目指すといいのか。」がはっきりしている。また、教師にも指導項目が明確になり、指導も徹底することができる。さらに、保護者にもこの項目を伝えることにより、保護者も同じ角度から指導することができる。

② 中間評価の実際

様々な場面での子どもたちの具体的な姿をビデオや写真を通して見ていたり、中間評価の資料を説明したりしながら、意見交流を行った。

〈子どもの様子について〉ビデオと写真から

① ふれあい活動 ~花植えの様子~学校のフェンスの花

② 教育実習生の研究授業 ~子どもたちの生き生きとした授業の様子

③ 体育の研究授業 ~3年生「体づくり運動」の様子

④ 地域安全マップ作り ~4年生 地域の方々との活動の様子

⑤ 北地区音楽会の5年生参加の様子と「歌のひろば」の全校の様子



また、中間評価については、子どもの自己評価と保護者アンケートについての結果と改善策について説明した。

〈子どもの自己評価から〉

～「あいさつ」「思いやり」「協力」「体力向上」の数値が高い、自己肯定感が高いことなどを交流。

〈保護者アンケートから〉

～懇談会のもち方について要望があること、ふれあい活動や歌のひろばは白楊の特色になっていることなどを交流。

さらに、参観日の様子についての交流では、「低学年から高学年の発達段階がよく見ることができた。」「自由研究のレベルが高い。」「全クラスに大きなTVがあることに驚いた。子どものノートや作品を映しながら授業の取り組んでいるのが素晴らしい。」などの意見をいただいた。

③ 教育活動の成果と課題の明確化

学校関係者評価委員会では、「白楊小学校の子どもはどれくらいなの?」「テストの点数は学力の目安になるのでそういう資料も提供してほしい。」などの意見も出された。保護者アンケートでも、〈指導の在り方〉に保護者の期待が出ているので、学力の定着が見えるように資料を提供したい。



学校関係者評価の結果を学校運営の工夫・改善に反映

2 学校関係者評価の結果から学校運営の工夫・改善へつなげる方策

(1) 学校関係者評価の結果から改善の方向を検討

子どもの実態をデータとして、わかりやすく見える形で提供できるようにする。知・徳・体のバランスのとれた子どもを目指し、実態把握と課題を分析し、達成状況を自己評価にも生かすとともに情報提供をしていきたい。

(2) 次年度の学校運営計画に反映した計画を報告

次年度は、体育の全国大会が本校を会場として開催されるので、体育の研究授業を通して子どもたちの姿を見ていただくとともに、白楊の子どもたちの体力のデータの提供も含めて子どもたちの実態を見ていただく。

V 自己評価及び学校関係者評価結果の公表



1 公表の方法

本校では、評価結果の公表を以下の方法で行っている。

- ・学校だより
- ・学校ホームページ

2 公表の効果

保護者や地域の方々は、学校の教育活動により一層関心をもってくれるようになった。地域の方々は、特に巡回パトロールや登下校指導などの安全確保に計画的に取り組んでくださるようになってきている。

VI 成果と課題

学校関係者評価委員会の理解と協力を学校職員に伝えていく

学校関係者評価委員への積極的な働きかけをする努力をしてきた結果、委員の方々が学校に対してより一層理解を示してくださり、教職員を応援してくれたり、子どもたちの交通安全に気配りをしてくれたりするなど、大変協力してくださるようになっていたことが大きな成果である。また、3学期の始業式前の通学路の除雪など、学校関係者評価委員である交通指導員の方々をはじめ町内会の方々及各関係機関に働きかけてくださっているなど、委員の方々のご尽力が大きい。

今後の課題としては、学校関係者評価委員の人選をいろいろな分野から検討していくことや、内容のバランスのとれた情報提供をしていくことが課題である。

(様式2)

平成23年度 自己評価及び学校関係者評価書

札幌市立白楊小学校

1 本年度の重点目標 自ら学び ともに生きる子どもの育成

2 本年度の経営方針

○子ども一人ひとりを大切にし、子どものニーズに応じながら、楽しい・伸びる学校づくりの推進
○家庭や地域とともに歩み、安全・安心な学校、信頼される学校づくりの推進

【経営の重点】 <学ぶ力の育成> <豊かな心の育成> <健やかな体の育成>
<特別支援教育> <環境教育> <教職員の力量を高める研修・研究活動>

開 か れ た 学 校 づ く り

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|----------------|--|------|-------|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 教育方針 | 学校だよりや学年だより・学級だより、懇談会などを通して、学校の教育のねらいや内容、子どもの様子がよく伝わっている。 | | | | |
| | 参観懇談、学校行事など、子どもたちの様子を見ていただく機会は十分にありますか。 | | | | |
| 学校関係者評価委員による意見 | | | | | |
| 指導の在り方 | 一人一人に目を向け、どの子も安心して学校生活を送ることができるように、全教職員で関わっていますが、教職員の子どもへの関わりは適切である。 | | | | |
| | 学習の基礎・基本となる力をしっかり身に付けることを目指していますが、お子さんの基礎的な力は身に付いてきたと思いますか。 | | | | |
| | 教職員は、「やる気の出る」「わかる・できる」「自信がつく」授業を目指していますが、お子さんの学習意欲は高まっていますか。 | | | | |
| | 全教職員は、お子さんの能力や努力を様々な場面で評価しています。適切に評価されていると思いますか。 | | | | |
| 学校関係者評価委員による意見 | | | | | |
| 協力・連携 環境・安全 | 教職員は、子どもについての適切な理解と指導のため、家庭との連携を図ったり、問い合わせや相談に丁寧に対応したりしていますか。 | | | | |
| | 学校は、地域やPTAとの連携を図り、子どものための活動をしていますか。 | | | | |
| | 教室や廊下の掲示物、すてき展、教材園など、子どもたちが主体的に学ぶ環境になっていますか。 | | | | |
| | 子どもたちの安全確保のために、地域や関係機関と協力し、より速く情報をお伝えできるようにしています。その取り組みは適切ですか。 | | | | |
| 学校関係者評価委員による意見 | | | | | |

| | | | | | |
|--------------------|---|--|--|--|--|
| 子どもの姿・成長 | 子どもたちは、時や場所、相手に応じて気持ちよく挨拶している。 | | | | |
| | 子どもたちは、思いやりを持って友達に接している。 | | | | |
| | 子どもたちは、掃除・給食当番・係活動などで、友達と仲よく活動している。 | | | | |
| | 子どもたちは、時間を意識して行動したり、廊下は右側を歩いたり、みんなが使うものを大事にしたりするなど、気持ちよく過ごしている。 | | | | |
| | 子どもたちは、自分で進んで考え、アイデアを出して工夫しながら活動に取り組んでいる。 | | | | |
| | 子どもたちは、自分のめあてに向かって、最後までがんばっている。 | | | | |
| | 子どもたちは、進んで運動し、元気に過ごしている。 | | | | |
| | 子どもたちは、毎日忘れ物をしないように心がけ、次の時間の準備をしっかりとっている。 | | | | |
| | 子どもたちは、自分の役割をしっかりと果たしている。 | | | | |
| | 子どもたちは、生きているものにやさしく接し、進んでお世話をしている。 | | | | |
| 学校関係者評価委員 による意見 | | | | | |

平成23年度 <前期> 白楊の教育についてのアンケート 集計結果

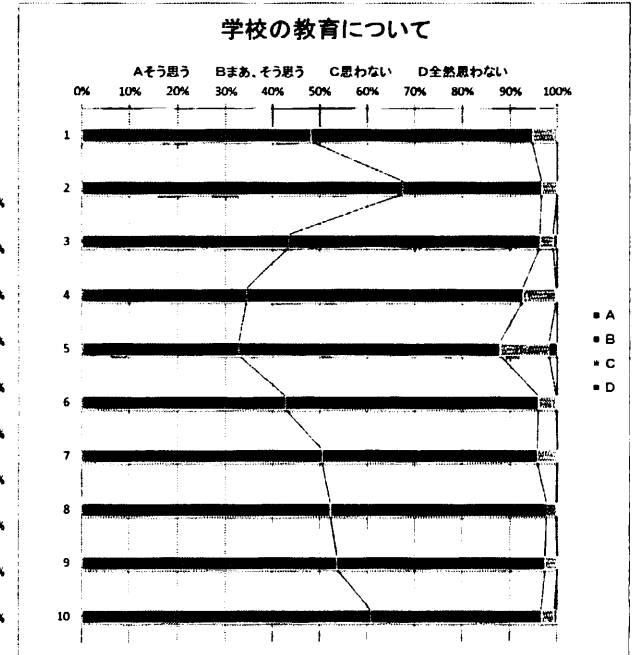
配布数 422 回収数 347 回収率 82%(昨年度72%)

A そう思う B まあ、そう思う C 思わない D 全然思わない

| 評価項目 | | A | B | C | D |
|------|--|---|---|---|---|
|------|--|---|---|---|---|

学校の教育<教育方針・指導の在り方・連携・協力・環境・安全など>についておたずねします。

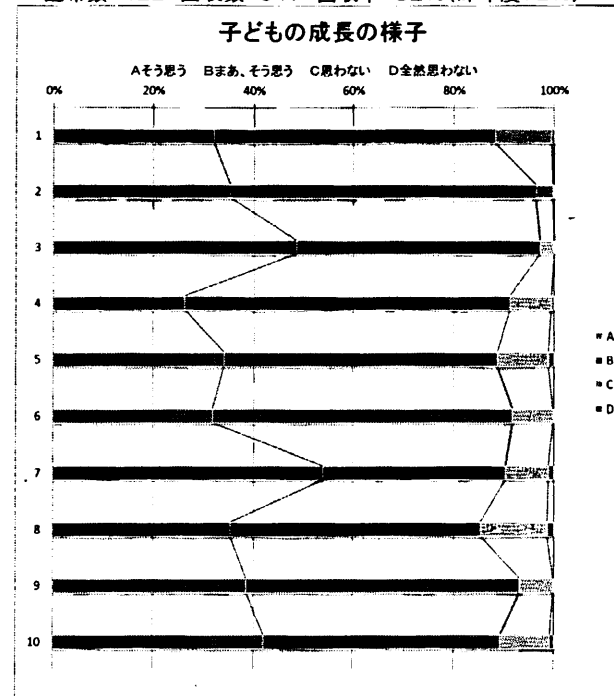
| | | | A | B | C | D | A | B | C | D | |
|----------|----|--|-----|-----|----|---|-----|-------|-------|-------|------|
| 教育方針 | 1 | 学校だよりや学年だより・学級だより、懇談会などを通して、学校の教育のねらいや内容、子どもの様子がよく伝わっていますか。 | 167 | 162 | 19 | 0 | 348 | 48.0% | 46.8% | 5.5% | 0.0% |
| | 2 | 参観懇談、学校行事など、子どもたちの様子を見ていただく機会に十分にありますか。 | 236 | 102 | 12 | 0 | 350 | 67.4% | 29.1% | 3.4% | 0.0% |
| 指導の在り方 | 3 | 一人一人に目を向け、どの子ども安心して学校生活を送ることができるように、全教職員で関わっていますが、教職員の子どももへの関わりは適切ですか。 | 150 | 182 | 10 | 3 | 345 | 43.5% | 52.8% | 2.9% | 0.9% |
| | 4 | 学習の基礎・基本となる力をしっかり身に付けることを目指していますが、お子さんの基礎的な力は身に付いてきたと思いますか。 | 119 | 201 | 25 | 1 | 346 | 34.4% | 58.1% | 7.2% | 0.3% |
| | 5 | 教職員は、「やる気の出る」「わかる・できる」「自信がつく」授業を目指していますが、お子さんの学習意欲は高まっていますか。 | 113 | 190 | 36 | 6 | 345 | 32.8% | 55.1% | 10.4% | 1.7% |
| 連携・協力・安全 | 6 | 全教職員は、お子さんの能力や努力を様々な場面で評価しています。適切に評価されていると思いますか。 | 146 | 182 | 13 | 1 | 342 | 42.7% | 53.2% | 3.8% | 0.3% |
| | 7 | 教職員は、子どもについての適切な理解と指導のため、家庭との連携を図ったり、問い合わせや相談に丁寧に対応したりしていますか。 | 174 | 156 | 15 | 0 | 345 | 50.4% | 45.2% | 4.3% | 0.0% |
| | 8 | 学校は、地域やPTAとの連携を図り、子どもたちの活動をしていますか。 | 180 | 157 | 7 | 1 | 345 | 52.2% | 45.5% | 2.0% | 0.3% |
| | 9 | 教室や廊下の掲示物、すてき展、教材園など、子どもたちが主体的に学ぶ環境になっていますか。 | 185 | 151 | 9 | 0 | 345 | 53.6% | 43.8% | 2.6% | 0.0% |
| | 10 | 子どもたちの安全確保のために、地域や関係機関と協力し、より速く情報をお伝えできるようにしています。その取り組みは適切ですか。 | 210 | 124 | 10 | 2 | 346 | 60.7% | 35.8% | 2.9% | 0.6% |



| 集計結果について | 教育方針 | 1 | <p>どちらも項目も、AB合わせると、90%を越えています。特に、2番の項目に関しては、Aが67、4%となっています。今後も、子どもたちの様子を見ていただく機会を多くつくっていくことや諸々の教育活動のねらいをお知らせして参ります。また、懇談会では、保護者の意見に耳を傾け、学級での子どもたちの様子をより一層伝えていきたいと考えています。</p> |
|----------|----------|----|--|
| | | 2 | |
| | 指導の在り方 | 3 | <p>項目5は、他の項目に比べて低い数値となっています。この数値に関しては、授業に対する保護者の期待の表れであると読み取ることができます。まだまだ、子どもたちのよさを引き出ししていくかわりをしていく必要があります。授業の中では、子どもたちが「やってみよう!!」「わかったよ。」「なるほど...。」「出来たよ。」など、子ども同士の学び合いをつくり、<どの子ども生きる>授業を目指して取り組んできています。言語活動の充実も意図しながら、表現力を高めていく授業にも取り組んできました。今後も、子どもたちの意欲を十分引き出し、確実な力を身に付けていくことができるように、研鑽に励みます。また、今年度は、通知表も新しくなり、子どもたちの授業での姿は評価に生かしております。今後も全職員で、子どもたちが意欲的にかつ安心して学校に登校できるように、子どもたちに関わって参ります。</p> |
| | | 4 | |
| | | 5 | |
| | | 6 | |
| | 連携・協力・安全 | 7 | <p>どの項目も、AB合わせると95%を超える高い数値となりました。今年度も、保護者の皆様や地域の皆様に大変お世話になっています。地域の安全指導員の方には、毎朝校区に立っていただき、子どもたちの交通安全のみならず、あいさつの指導もいただいています。また、PTA活動については、よりよい活動のあり方を検討していただき、改善しながら進めてきています。家庭と学校と地域がお互いに情報を交流しながら、子どもたちのために連携を深めて参りたいと考えています。 今年度から始めた携帯メール送信も有効に活用していただきたいと思います。</p> |
| | | 8 | |
| | | 9 | |
| | | 10 | |

お子さんの「成長の様子」についておたずねします。(来校の折に見たお子さんの様子やお子さんから聞く学校の様子などからお答えください。)

| は | はっきり あいさつ心から | あいさつ | お子さんは、時や場所、相手に応じて気持ちよくあいさつしていますか。 | 112 | 196 | 40 | 2 | 350 | 32.0% | 56.0% | 11.4% | 0.6% |
|---|-----------------|-----------|--|-----|-----|----|---|-----|-------|-------|-------|------|
| く | クラスみんなで 協力だ | 思いやり | お子さんは、思いやりを持って友達に接していますか。 | 121 | 210 | 12 | 1 | 344 | 35.2% | 61.0% | 3.5% | 0.3% |
| | | 協力 | お子さんは、掃除・給食当番・係活動などで、友達と仲よく活動していますか。 | 167 | 168 | 10 | 0 | 345 | 48.4% | 48.7% | 2.9% | 0.0% |
| よ | よく考えて 挑戦し | 時間 きまり | お子さんは、時間を意識して行動したり、廊下は右側を歩いたり、みんなが使うものを大事にしたりするなど、気持ちよく過ごしていますか。 | 88 | 217 | 28 | 2 | 335 | 26.3% | 64.8% | 8.4% | 0.6% |
| | | 工夫 | お子さんは、自分で進んで考え、アイディアを出して工夫しながら活動に取り組んでいますか。 | 116 | 186 | 35 | 4 | 341 | 34.0% | 54.5% | 10.3% | 1.2% |
| | | 目標 | お子さんは、自分のめあてに向かって、最後までがんばっていますか。 | 109 | 205 | 28 | 1 | 343 | 31.8% | 59.8% | 8.2% | 0.3% |
| う | 動こう進んで 自分から | 体力向上 | お子さんは、進んで運動し、元気に過ごしていますか。 | 187 | 126 | 30 | 4 | 347 | 53.9% | 36.3% | 8.6% | 1.2% |
| | | 準備 | お子さんは、毎日忘れ物をしないように心がけ、次の時間の準備をしっかりとっていますか。 | 124 | 176 | 47 | 5 | 352 | 35.2% | 50.0% | 13.4% | 1.4% |
| | | 責任 | お子さんは、自分の役割をしっかりと果たしていますか。 | 133 | 189 | 23 | 1 | 346 | 38.4% | 54.6% | 6.6% | 0.3% |
| | | 自然愛護 | お子さんは、生きているものにやさしく接し、進んでお世話をしていますか。 | 143 | 161 | 34 | 3 | 341 | 41.9% | 47.2% | 10.0% | 0.9% |



集計結果について

学校では、前期は「はくよう」の「は」と「く」に特に重点を置きながら、子どもたちに指導してまいりました。子どもたちの自己評価は、「あいさつ」がよくできていると答えている子どもが非常に高く、意識としては、「あいさつをしよう」という気持ちはよく表れています。保護者の評価も、「あいさつ」に関しては、AB合わせて約88%の保護者ができていると答えています。しかし、一方では、「あいさつができていない。」と答えている保護者もいます。また、私たち職員の評価でも、「子どもたちは自分は挨拶していると思っても相手に伝わっていない。」という場面もあり、子どもに指導しています。まだまだ、いい挨拶ができそうです。

「クラスみんなで協力だ」に関しては、子どもの自己評価も、保護者の評価も高く一致しているといえます。思いやりのある子、友達と協力できる子どもたちが多いことも大切に今後も指導して参ります。今後も子どもたちが協力している姿や仲よく活動している姿をおたよりを通して伝えて参ります。

Aの評価として低い数値になっているのが、「時間やきまり」となっており、学校に来校の折に保護者から見える子どもの姿としてとらえることができます。「時間を守る」ことや「廊下は右側を歩く」など、目に見える行動について後期も指導に重点を置いて参ります。また、「準備」など、毎日忘れものをしない子どもになってほしいということも、保護者の思いとしてこのグラフから読み取ることができます。学校でも、何を持ってこなければならないのかをおたよりでお知らせしていくと共に、子ども自身が自分で意識して忘れ物をなくしていくことができるように(メモを取らせるなど)しっかり働きかけていく指導していきます。家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

今回のアンケートでAの評価が53.9%という高い数値となったのは、「体力向上」でした。休み時間の子どもの姿としては、元気にグラウンドで遊んでいる姿を見ることができます。また、プレイタイムに元気委員会で取り組んでいる「なわとびパーク」には、子どもたちが自分たちからどんどん参加しています。近頃は、参加する人数が自然に増えてきています。学級でも全員遊びなど企画し、元気に仲良くできる活動をしています。後期は寒くなっていきますが、子どもの本来もっている元気な姿を大事にした活動をしたいと思っています。

後期は「はくよう」の「よ」と「う」に重点を置いて指導して参ります。後期がスタートしていますので、具体的に子どもたちと「どんな場面で」「どんな目標をもって」取り組んでいくのかをよく話し合いながら指導していきます。しっかりとした目標をもたせて、子どもたちの成長につなげていきます。

平成23年度 前期 白楊の教育についてのアンケート 記述欄について

今回の保護者アンケートでは、記述欄も多数ご意見をいただきました。ありがとうございました。
個々に対応すべきご意見については、担任を通して教育相談やその他の機会に対応させていただきます。ここでは、学校全体にかかわるご意見について、今後の対応等をお知らせいたします。
(集計結果についての欄で記載しているものもあります。)

実施日 23.10.3～7 配付数 422 回収数 350 回収率 83%(昨年度72%)

参観日・家庭訪問など

参観日～よい、これからも！というご意見
～回数が多い…というご意見

懇談会～学年ではなく学級懇談を…というご意見

家庭訪問～教育相談のように保護者来校で…というご意見

参観日の回数については、記述欄のご意見は分かれていましたが、アンケート集計の結果を見ると、概ねご理解いただいているところと考えます。懇談会は、行事等との関連で学年懇談の方がよいと考えた場合に、学年で行って来ました。今後もねらいに合わせて形態や内容を考えていきます。家庭訪問についてのご意見は、担任の時間をご配慮いただいたご意見でしたが、通学路や緊急時のための自宅確認等のよさもありますので、今まで通り行いたいと考えます。

授業・その他の取組について

よい！
→チャレンジ 歌のひろば お便り
学びのサポーター

こんな活動を！
→食育 もつとT.T.の活用 体づくり
放課後クラブ 少人数の参観授業
お便りの内容の工夫 朝の旗振り毎日
親が不安なことを話しやすい環境

様々な角度から、たくさんのご意見をいただきました。よさを認めていただいたものについては、再度よりよい方向へ進めていくよう吟味して参ります。また、ご示唆いただいた活動については、本来小学校が目指すべきことと照らし合わせながら、
☆学級、学年で取り組んでいけるもの
☆学校全体として取り組んで行けるものを見極め、後期に生かしていけるよう検討を続けて参ります。

雰囲気・環境など

異学年交流が多いのがよい…というご意見

清掃、図書室などの環境整備がよい…というご意見

学年の枠を越えて、異学年と一緒に交流する活動を今後も継続していきます。また、階段掲示板の作品展(すてき展)も、今後も大切にしながら、異学年の作品に触れるよさも味わうことができる環境整備に取り組んで参ります。

安全面・緊急メールなど

緊急メール～良かった、これからも！というご意見
～もう少し使い方の工夫を…というご意見
・不審者情報でも活用を
・修学旅行…そこまでしなくても…
・連絡網もメールで

安全面はよい…というご意見

緊急メールについては、緊急性の高い「不審者情報」について、活用していく方向で考えていきます。緊急性の判断基準(校区内・当日 etc)を熟慮し、10月から実施していくことを目指します。